



社協だより

70

2013.11.15発行

住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



■小地域協議会のページ

- ・支え合いマップづくり ～南本郷小地域協議会の取り組み～
- ・今区小地域協議会 ～グループホーム避難訓練に協力～

■生活福祉資金貸付制度について②

■笑顔キラキラ☆ほいくえんフォトギャラリー

■平成25年度表彰のご報告

社協トピックス ひろ場



10/12 大堰保育園の運動会

布うちわを風になびかせて“アンダー・ザ・シー”を踊りました

■ 社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

■ 大堰保育園

〒830-1205
大刀洗町大字守部465-5
TEL/0942-77-1402

■ 本郷保育園

〒830-1211
大刀洗町大字本郷899-1
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>

冬に備えて体力づくり
散歩やスロージョギングに
出かけませんか？



支え合いマップづくり

～南本郷区小地域協議会の取り組み～

先日、県社協主催の「支え合いマップづくり」研修が行われました。この「支え合いマップ」とは、要援護者見守りネットワーク事業の活動の1つとして紹介した「福祉マップづくり」を発展させたもので、地域を把握する1つの手法として全国的に注目されています。

今回は、この「支え合いマップ」について、南本郷区小地域協議会の実際の取り組みと合わせてご紹介します。

○支え合いマップとは？

「支え合いマップ」は、要援護者を中心に地域のご近所付き合いを線でつなぎ、その地域の関わり合いの様子を地図に起こすものです。そうすることで、要援護者の把握に加え、地域の方達の関係性や支え合いの状況が分かり、地域全体の傾向や課題が見えてくるというものです。

○進め方・手順

①情報の整理

以下のような地域の情報を出していきます。

- ・要援護者や気になる方を確認する
- ・その方のご近所との関係性を線でつなぐ
- ・ミニデイや老人クラブ地域の集まり等も地図に落とす



◆南本郷区では、区内の50世帯を対象に、区長さんや民生委員さん・老人クラブ会長さん・福祉協力員さんなどで取り組みました。

②傾向と課題の共有

洗い出した情報を目に見えるようにすることで、例えば、「線の少ないAさん」や「情報の少ないB地区」などが浮かび上がり、地域の様子が具体的に見えてきます。

◆南本郷区で分かったこと。(一部抜粋)

- *要援護者ではないが、気にかけておきたい世帯がある。
- *要援護者がいない区域は、交流の少ない傾向にある。
- *ボランティアさんの地区の選出にばらつきがある。

③解決にむけて

②の情報をもとに“Aさんを気にかけてよう”や“B地区の〇〇さんを今度お誘いしてみよう”といったように、個別のことから、その地域が住みよくなるためにどうしたら良いかといったことが地域づくりの視点で見えてきます。

◆南本郷区で考えたこと。(一部抜粋)

- *関わり合いが低い世帯も地域で遠くから見守り、気にかけておこう。
- *ボランティアの選出が少ない地区へ、来年度からお誘いをかけてみよう。

○南本郷の皆さんの声

- ・目に見える形で地域のことが整理され、地域のことが良く分かった。
- ・見守り活動について、隣組長にも知ってもらったらどうか。
- ・行政や社協、地域の役割の整理と連携が大切だと再認識した。
- ・あまり地域のことを知る機会がないので、参加できて良かった。
- ・南本郷区の他の地区でも取り組んでも良いのでは。



今回、マップ作りという丁寧な確認作業をしたことで、見守り活動の確認や見直しにつながり、地域のことが色々分かりました。

この実践をきっかけに、要援護者を支援者が見守るということだけでなく、10年後～20年後を見据えて地域に孤立した方を生まないために、地域全体が自然な関わり合いを築き、お互いに支え合うという意識を持って取り組むことが大切だと感じました。

小地域協議会の活動の1つとして、支え合いマップづくりを行ってみませんか？

今区小地域協議会

～聖母園グループホーム避難訓練への協力～

聖母園グループホームの避難訓練に、地域からの支援として今区小地域協議会のメンバーが参加しました。

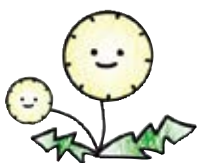
今回の訓練は、夜間の火災を想定。少ない職員で対応しなければならないことと、利用者毎に状態が異なるため、急ぎつつもきめ細やかな対応を行いながら火元から一番遠い出入りに利用者の方を集め、地域の方が外への誘導や避難後の見守りを行うという内容でした。

避難訓練後は、消防署員の指導による消火器の取り扱いの講習を受け、使用方法について確認をされていました。

反省会では、避難誘導の順番や、小地域協議会を中心とした支援体制はもちろんのこと、地元消防団との協力体制の構築の必要性など、地域にできることは何かということについて様々な意見を交換することができました。

最近が高齢者施設等での火災が問題となっています。施設も地域の中にあるものですので、地域とお互い協力をしながら、火災も含め災害が発生した時に被害を最小限にできるよう連携していくことが必要であると感じました。





生活福祉資金貸付制度について②



「生活福祉資金」貸付制度は、低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金の貸し付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立や生活状況の改善及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送るための貸付制度です。



どんな貸付の種類があるのですか？

貸付の種類は下の表のとおりです。ただし、世帯の状況によっては貸付ができない場合もあります。



生活福祉資金の種類

資金の種類		資金の目的
総合支援資金	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用
	住宅入居費	敷金、礼金など住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用（住宅支援給付支給対象者のみ）
	一時生活再建費	生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費でまかなうことが困難である費用
福祉資金	福祉費	生業を営むために必要な経費、病気療養に必要な経費、住宅の増改築や補修に必要な費用、福祉用具などの購入経費、介護サービスや障がい者サービスを受けるために必要な経費など
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に貸し付ける少額の費用
教育支援資金	教育支援費	低所得世帯に属する者が高校や高専、大学などに就学するために必要な経費
	就学支度費	低所得世帯に属する者が高校や高専、大学などに入学するために必要な経費
不動産担保型生活資金		低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金

※連帯保証人については、原則必要としますが、連帯保証人を立てない場合も貸付可能です。
 ※貸付金利率については、連帯保証人を立てる場合は無利子。立てない場合は基本年1.5%。
 ただし、緊急小口資金と教育支援資金(要連帯借受人)については無利子。
 ※資金によって貸付限度額・据置期間・利率が異なります。また、借受に関する条件や必要書類等が資金の種類によって異なりますので、必ず下記までご相談してください。



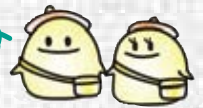
問合せ先 大刀洗町社会福祉協議会 Tel.0942-77-4877

笑顔キラキラ

ほいくえんフォトギャラリー

お月見会、おまつり、運動会...

子どもたちはますます元気です



大堰保育園



9/7 みんなでアンパンマンの
ブラックシアターを見ました



9/2 プール納会でスイカ割り!!
見事に当たるかな?!



10/12 練習の成果を発揮してがんばりました



9/7 お月見会のお楽しみ
ヨーヨーつりやゲームをしました



10/12 赤勝て 白勝てみんな
大好き玉入れ合戦!!

新任職員紹介



曾田(あいだ)由美です。
よろしくお願いします。

10月から大堰保育園にて事務職として勤務することになりました。
慣れない仕事にとまどいながらですが、園児たちの笑顔にいやされて業務に励んでいます。どうぞよろしくお願いします。

本郷保育園



9/7 ふれあいまつりで『あの青い空の
ように』を手話歌で披露しました。



10/5 園内運動会 最後まで一生懸命
がんばりました!!



10/10 南本郷ミニテイにて
おいちゃん、おばあちゃん達との触れ
合い... あったかいなあ~♡



9/19 クッキング ウサギ団子
を作ったよ。おいしそうでしょ♪



10/13(日)町民体育大会
年長さんががんばって走りました!

園児の様子は社協ホームページからもご覧になれます

大刀洗町社協 保育園ブログ

検索

表彰のご報告



社協会長表彰

11/9のドリームまつりで、次の方々を表彰させていただきました。(敬称略)

◆ボランティア表彰(団体)

- ・西栄田ミニデイ(福寿会)
- ・高樋ミニデイ(いちごの里)
- ・スマイル(ボランティア情報誌「ちょぼら」の編集)

◆介護者表彰(感謝状)

- ・鹿毛トミ子(鳥飼) ・矢野太代子(鳥飼)
- ・中原 勤(西本郷) ・池田 智子(南本郷)
- ・渡邊ヒサ子(東本郷) ・大澤 容子(北山隈)



福岡県共同募金会会長表彰

◆優秀地区会長表彰

H24年度の共同募金運動の実績が認められ、大刀洗町が優秀地区として表彰を受けました。皆様ご協力ありがとうございました。

急に寒くなりましたね。おかげで、今年は合服を着る機会がめっきり減ったなあと思います。



さて、先日障がい児・者の親の会『ほけっと』で「障がい児の学校教育」についての話がありました。障がい児の学校教育の変遷の中で、以前の「ろう学校」や「盲学校」「養護学校」は現在「特別支援学校」に、普通学校の中に設置されていた「特

殊学級」は「特別支援学級」になりました。今は昔に比べ、普通学校に通いやすい環境にあるようで、地域の学校で学ぶ子どもも増えているとか。障がいのある子どもが普通学校に入学した場合、特別支援学級でその子に合わせた授業があり、体育・音楽・図工・生活行事などは交流授業ということでの他の学級の子ともたちと一緒に学習するそうです。

また、『昔は、普通学校に入学するお子さんも少なく、先生たちが試行錯誤でその子のためにどうしたら良いかを考えていたそうですが、今は専門的指導を受ける環境が整ってきている反面、いろいろな人が関わっていた良さが少なくなつた』という声もありました。子どもの成長に人との関わり合いという面で、色々と考えさせられるひとコマでした。

それに関連して、11月のほっこり井戸端サロンですが、障がいを抱えながら地域の学校に行き、地域で生活されてある森拓也さんがゲストに来られます。興味のあ

ほっこり井戸端サロン③



お茶ば飲みに来んね〜

お茶を飲みながら、町内のいろいろな人から話を聴く“ほっこり”とした雰囲気サロン。お気軽にご参加ください♪

■日時：11月30日(土) 午後1時30分～

■場所：ぬくもりの館(役場東側)

■テーマ：「今、地域の中で共に生きる」

ゲスト：森 拓也さん(ひょうたん島店長)

重度の障がいを持つ拓也さんは現在33歳。訪問介護サービスを受けながら町内でひとり暮らしをされています。拓也さん誕生から普通学校に通った小・中学校時代、現在、そしてこれからは聴かせていただきます。

今号のベストショット



東本郷ミニデイ
小学生との交流